

参 考 资 料

目 次

資料 1	環境省が設置した北海道内の国立公園に所在するビジターセンター等	1
資料 2	ビジターセンター等の一例	2
資料 3	環境省が設置した北海道内の国立公園に所在するビジターセンター等位置図	3
資料 4	ビジターセンターの機能	4
資料 5	北海道内の 14 か所のビジターセンター等が有する機能	4
資料 6	国立公園内のビジターセンター等利用者数の推移	5
資料 7	ビジターセンター等の整備費及び改修費	6
資料 8	平成 24 年度 ビジターセンター等の維持管理費（環境事務所負担分）	6

<川湯エコミュージアムセンターの外観>



資料1 環境省が設置した北海道内の国立公園に所在するビジターセンター等

区分	国立公園	ビジターセンター等	開設時期	建物構造
ビジターセンター	知床	羅臼ビジターセンター	平成 19 年 5 月 24 日	鉄筋コンクリート一部木造平屋建て
	阿寒	川湯エコミュージアムセンター	11 年 4 月 29 日	木造一部 2 階建て
		阿寒湖畔エコミュージアムセンター	14 年 4 月 24 日	鉄筋コンクリート一部木造一部 2 階建て
	釧路湿原	温根内ビジターセンター	4 年 4 月 24 日	木造一部 2 階建て
		塘路湖エコミュージアムセンター	9 年 10 月 19 日	木造一部 2 階建て
	大雪山	層雲峡ビジターセンター	12 年 6 月 20 日	鉄骨造 2 階建て
		ぬかびら源泉郷ビジターセンター	25 年 5 月 1 日	木造平屋建て
	支笏洞爺	支笏湖ビジターセンター	15 年 7 月 5 日	木造一部鉄筋コンクリート造平屋建て
		洞爺湖ビジターセンター	19 年 5 月 14 日	木造 2 階建て
洞爺財田自然体験ハウス		16 年 7 月 10 日	木造平屋建て	
類似施設	利尻礼文	サロベツ湿原センター	23 年 4 月 28 日	木造平屋建て
	サロベツ	幌延ビジターセンター	元年 5 月 1 日	鉄骨造 2 階建て
	知床	知床五湖フィールドハウス	23 年 4 月 29 日	木造平屋建て
	釧路湿原	シラルトロ自然情報館	18 年 5 月 1 日	木造平屋建て

(注) 環境事務所の資料に基づき当局が作成した。

資料2 ビジターセンター等の一例

<川湯エコミュージアムセンターの内観>



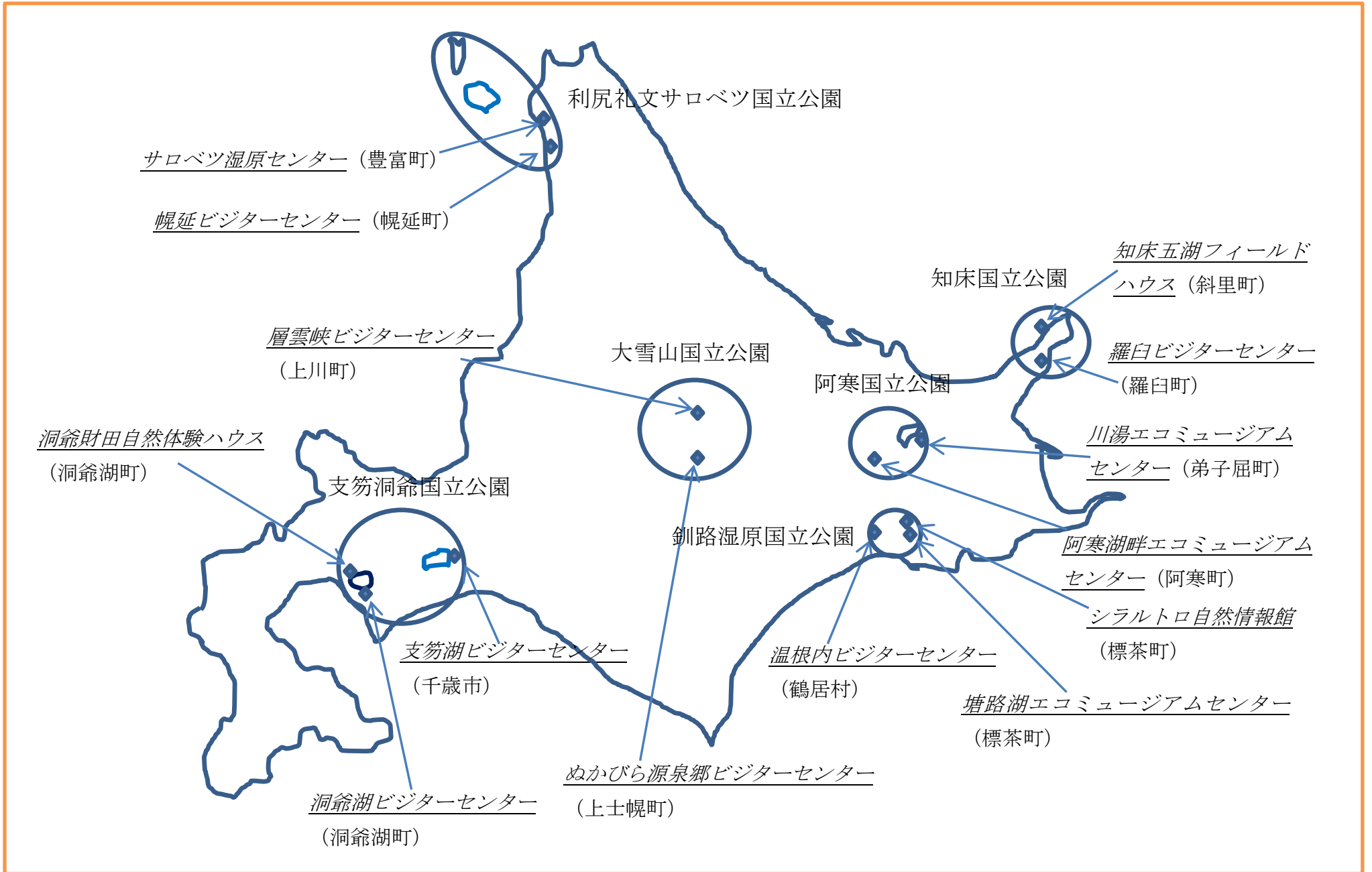
<ぬかびら源泉郷ビジターセンターの外観>



<ぬかびら源泉郷ビジターセンターの内観>



資料3 環境省が設置した北海道内の国立公園に所在するビジターセンター等の位置図



資料4 ビジターセンターの機能

機 能	内 容
利用のための案内・情報提供機能	利用者の適正な利用活動を助けるため、利用地点や興味地点などの案内、自然の状況や利用状況に関する情報、当日の天気情報などのリアルタイムに近い各種情報の提供を行うもの。
自然及び人文の解説機能	利用者の自然公園等の利用に際しての理解を深めるため、対象とする地域の地形、動植物、自然現象、歴史、文化財等に関する解説を行うもの。
自然とのふれあい体験の指導・促進機能	利用者が直接自然にふれ体験するための支援や誘導を行うもの。
休憩・避難・便益のための機能	快適な休憩利用、緊急時の安全な避難場所などの提供を行うもの。
調査・研究のための機能	情報提供や解説のための機能を充実するため、対象とする地域の自然環境や利用状況に関する調査、研究、情報収集を行うもの。
管理・運営のための機能	ビジターセンター及び周辺における利用施設や自然環境などの点検や維持管理、簡易な補修などの保守、美化清掃などの活動とこれらの活動や情報提供、ふれあい体験指導などに要する人材育成などを行うもの。

(注) 技術指針に基づき当局が作成した。

資料5 北海道内の14か所のビジターセンター等有する機能

区分	国立公園	ビジターセンター等	機 能					
			案内	解説	体験の促進	休憩・避難	調査・研究	管理・運営
ビジターセンター	知床	羅臼ビジターセンター	○	○	○	○	○	○
	阿寒	川湯エコミュージアムセンター	○	○	○	○		○
		阿寒湖畔エコミュージアムセンター	○	○	○	○	○	○
	釧路湿原	温根内ビジターセンター	○	○	○	○		○
		塘路湖エコミュージアムセンター	○	○	○	○		○
	大雪山	層雲峡ビジターセンター	○	○	○	○		○
		ぬかびら源泉郷ビジターセンター	○	○	○	○		○
		支笏洞爺	支笏湖ビジターセンター	○	○	○	○	
			洞爺湖ビジターセンター	○	○	○	○	
		洞爺財田自然体験ハウス	○	○	○	○		○
類似施設	利尻礼文サロベツ	サロベツ湿原センター	○	○	○	○		○
		幌延ビジターセンター	○	○		○		○
	知床	知床五湖フィールドハウス	○	○	○	○		○
	釧路湿原	シラルトロ自然情報館	○	○		○		

(注) 1 環境事務所の資料に基づき当局が作成した。

2 表中の「○」は当該機能を有していることを、空欄は当該機能を有していないことを示す。

資料6 国立公園内のビジターセンター等利用者数の推移

単位：人、(%)

国立公園	ビジターセンター等 (施設区分)	平成 20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	増減
		(a)			(b)	(c)	(b - a)
利尻 礼文 サロ ベツ	サロベツ湿原センター (類似施設)				48,790 (100)	44,129 (90)	—
	幌延ビジターセンター (類似施設)	7,742 (100)	7,645 (99)	6,956 (90)	7,342 (95)	6,920 (89)	▲400 ▲5
	公園全体	1,000,000 (100)	910,000 (91)	880,000 (88)	840,000 (84)	—	▲160,000 ▲16
知床	羅臼ビジターセンター (博物展示施設)	31,433 (100)	34,824 (111)	30,831 (98)	31,495 (100)	35,139 (112)	62 0
	知床五湖フィールドハウス (類似施設)				192,110 (100)	217,090 (113)	—
	公園全体	1,950,000 (100)	1,810,000 (93)	1,820,000 (93)	1,690,000 (87)	—	▲260,000 ▲13
阿寒	川湯エコミュージアムセンター (博物展示施設)	15,525 (100)	13,818 (89)	15,619 (101)	14,640 (94)	14,871 (96)	▲885 ▲6
	阿寒湖畔エコミュージアムセンター (博物展示施設)	66,758 (100)	62,593 (94)	61,885 (93)	54,225 (81)	57,043 (85)	▲12,533 ▲19
	公園全体	4,000,000 (100)	3,730,000 (93)	3,690,000 (92)	3,470,000 (87)	—	▲530,000 ▲13
釧路 湿原	温根内ビジターセンター (博物展示施設)	41,238 (100)	38,196 (93)	36,515 (89)	36,120 (88)	38,233 (93)	▲5,118 ▲12
	塘路湖エコミュージアムセンター (博物展示施設)	14,784 (100)	13,888 (94)	14,082 (95)	14,150 (96)	14,191 (96)	▲634 ▲4
	シラルトロ自然情報館 (類似施設)	—	—	—	—	—	—
	公園全体	350,000 (100)	320,000 (91)	340,000 (97)	400,000 (114)	—	50,000 14
大雪 山	層雲峡ビジターセンター (博物展示施設)	38,429 (100)	60,239 (157)	50,152 (131)	34,037 (89)	36,381 (95)	▲4,392 ▲11
	ぬかびら源泉郷ビジターセンター (博物展示施設)						—
	公園全体	5,010,000 (100)	4,780,000 (95)	4,660,000 (93)	4,200,000 (84)	—	▲810,000 ▲16
支笏 洞爺	支笏湖ビジターセンター (博物展示施設)	206,547 (100)	218,371 (106)	188,982 (91)	183,918 (89)	186,985 (91)	▲22,629 ▲11
	洞爺湖ビジターセンター (博物展示施設)	90,601 (100)	83,267 (92)	81,415 (90)	68,117 (75)	65,605 (72)	▲22,484 ▲25
	洞爺財田自然体験ハウス (博物展示施設)	8,211 (100)	6,998 (85)	6,188 (75)	5,728 (70)	5,878 (72)	▲2,483 ▲30
	公園全体	10,840,000 (100)	10,030,000 (93)	9,690,000 (89)	8,350,000 (77)	—	▲2,490,000 ▲23
計	12か所のビジターセンター等 (平成23年新設を含む)	521,268 (100)	539,839 (104)	492,625 (95)	690,672 (132)	722,465 (139)	169,404 32
	10か所のビジターセンター等 (平成23年新設を除く)	521,268 (100)	539,839 (104)	492,625 (95)	449,772 (86)	461,246 (88)	▲71,496 ▲14
	6国立公園全体	23,150,000 (100)	21,580,000 (93)	21,080,000 (91)	18,950,000 (82)	—	▲4,200,000 ▲18

- (注) 1 環境省の資料に基づき当局が作成した。
 2 平成24年の国立公園利用者数は、平成25年7月1日現在、公表されていない。
 3 釧路湿原国立公園内のシラルトロ自然情報館(無人施設)については、利用者数が把握されていない。
 4 ぬかびら源泉郷ビジターセンターは、平成25年度に新設された施設である。

資料7 ビジターセンター等の整備費及び改修費

単位：千円

区分	国立公園	ビジターセンター等	整備費		改修費	
			年度	事業費	年度	事業費
ビジターセンター	知床	羅臼ビジターセンター	平成 18	495,107	平成 20	34,713
	阿寒	川湯エコミュージアムセンター	10	399,691	17	28,920
		阿寒湖畔エコミュージアムセンター	19		23	95,771
			24		24	29,986
	釧路湿原	温根内ビジターセンター	3	123,800	21	18,071
		塘路湖エコミュージアムセンター	8	259,700	19	22,134
	大雪山	層雲峡ビジターセンター	11	650,000	22	54,733
		ぬかびら源泉郷ビジターセンター	24	300,000	-	28,626
	支笏洞爺	支笏湖ビジターセンター	15	660,000	-	37,000
		洞爺湖ビジターセンター	17~18	1,092,000	19	-
洞爺財田自然体験ハウス		13~15	1,230,000	19	44,793	
類似施設	利尻礼文	サロベツ湿原センター	22	336,000	-	-
	サロベツ	幌延ビジターセンター	昭和 63	110,000	12	123,700
	知床	知床五湖フィールドハウス	平成 22	290,552	-	-
	釧路湿原	シラルトロ自然情報館	17	64,817	-	-
合計			6,603,236		559,386	

- (注) 1 環境事務所の資料に基づき当局が作成した。
 2 「改修費」欄は、当該年度に1,000万円以上を要した改修費を計上した。
 3 支笏湖ビジターセンターは、昭和54年度に整備されているが、平成15年度に施設の大規模な増築が行われていることから、「整備費」欄には15年度の事業費を計上した。
 4 洞爺財田自然体験ハウスの事業費には、野営場整備及び用地費が含まれている。

資料8 ビジターセンター等の維持管理費（平成24年度環境事務所負担分）

単位：千円

区分	国立公園	ビジターセンター等	維持管理等 業務委託費	維持管理費 (光熱費等)	計
ビジターセンター	知床	羅臼ビジターセンター	6,893	8,633	15,526
	阿寒	川湯エコミュージアムセンター	5,355	7,030	12,385
		阿寒湖畔エコミュージアムセンター	6,403	4,223	10,626
			897	4,667	5,564
	釧路湿原	温根内ビジターセンター	1,338	2,228	3,566
		塘路湖エコミュージアムセンター	7,980	7,535	15,515
	支笏洞爺	支笏湖ビジターセンター	4,288	9,487	13,775
		洞爺湖ビジターセンター	0	4,843	4,843
		洞爺財田自然体験ハウス	4,516	4,400	8,916
	類似施設	利尻礼文	サロベツ湿原センター	3,703	3,131
サロベツ		幌延ビジターセンター	0	392	392
知床		知床五湖フィールドハウス	12,012	12,601	24,613
釧路湿原		シラルトロ自然情報館	0	0	0
合計			53,385	69,170	122,555

- (注) 1 環境事務所の資料に基づき当局が作成した。
 2 ぬかびら源泉郷ビジターセンターは平成25年度開設のため、本表から除外した。
 3 環境事務所の「維持管理費」欄の金額のうち、層雲峡、支笏湖、洞爺湖及び洞爺財田については、ビジターセンターを含む集団施設地区（公園の利用のための施設を集团的に整備するため、公園計画に基づき指定された環境省所管の区域）の維持管理費が含まれる。